

## 日本骨髄バンクの現状（2022年9月末現在）

	8月	9月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,822	2,862	541,220	904,785
患者登録者数	204	185	1,679	65,116
移植例数	84[25]	90[23]	—	27,047[1,702]

- 9月年代別ドナー登録者数（現在数）
  - 10代 3,599人
  - 20代 85,961人
  - 30代 136,061人
  - 40代 219,035人
  - 50代 96,564人
- 9月の20歳未満の登録者 184人

※ [ ]内は末梢血幹細胞移植の実施数（累計数は国際間含む）

- 区分別ドナー登録者数：献血ルーム777人、献血併行型集団登録会2,040人、集団登録会0人、その他45人
  - 末梢血幹細胞移植累計数：1,651件（国内ドナー⇒国内患者、2022年9月末時点）
  - 当法人を介して2回提供された方（累計）2,085人 ■ DLI[ドナーリンパ球輸注療法]（累計）1,018件
  - 国際協力の現状（2022年4月～9月）
    - 【海外ドナー⇒国内患者】移植：2件（米国、韓国）、累計移植数：202件
    - 【国内ドナー⇒海外患者】採取：0件、累計採取数：286件
- 注）数値は速報値のため訂正する場合があります。

## 1 9月24日（土）「骨髄バンク推進全国大会 2022 in 広島」が開催されました【報告】

台風の影響も一部ありましたが、「骨髄バンク推進全国大会 2022 in 広島」は第一部記念式典、第二部「社会を変えるアイデアフェス～想像力が、いのちを救う。～」ともに、予定通り開催されました。アイデアフェスのテーマは「ドナー登録者を増やすには」。学生たちは前日のワークショップで生み出した企画を練り上げ、入念に準備をして24日のプレゼンテーションに望みましました。会場となるホールの大きさから、リハーサルでは緊張する様子も見られましたが、本番では大窪シゲキ氏（広島FM「大窪シゲキの9ジラジ」DJ）らの軽妙で温かな進行もあり、11チームが笑顔で発表を行いました。自由でありながらも、実現に向けて十分な検討がなされた企画が続き、会場からはたびたび拍手と笑いが起きていました。小寺理事長やゲスト審査員による選考の結果、表彰状を手にしたのは4チームです。

各チームのアイデアは、後日公式HPなどでご紹介します。楽しみにお待ちください。



## 2 第21回コーディネーター養成研修会について

今年度のコーディネーター養成研修会参加者募集については、締め切りを延長して応募を受け付けました。その結果、最終的には100名を超える方々からの応募があり、今回30名超の方に受講いただくこととなりました。10月8日（土）に開講式、10月14日（金）に集合研修をいずれもWEBセミナーで行い、その後各地区でも基礎研修並びに実地研修を開始する予定です。締切り間際まで募集告知にご協力くださいました多くの皆さまに、心より感謝申し上げます。

## 3 10月は骨髄バンク推進月間



毎年10月は「骨髄バンク推進月間」です。全国の自治体やボランティアの皆さまのご協力により、ドナー登録会や各種啓発イベントが各地で開催されます。愛知県名古屋市では、デザイン専攻の高校生が骨髄バンク啓発用のポスター(写真)やクリアファイルを制作しました。クリアファイルは、市内に通学する高3生に配布します。岡山県では、JR岡山駅前ですドナー不足を訴える街頭キャンペーンが実施されました。兵庫県では、県内の信用金庫でドナー登録会を実施します。また、山形県や宮崎県など各地の自治体では、ツイッターを使って推進月間をアピールしていただいております。ご協力いただいている関係各位に御礼申し上げます。

## 4 IHG・ANAホテルズ労働組合連合会より寄付をいただきました

10月5日(水)、IHG・ANAホテルズ労働組合連合会の大森 淳(おおもり じゅん)事務局長が、寄付金の贈呈のため骨髄バンク事務局に来訪されました。同労働組合連合会では、全国のIHG・ANAホテルでボランティアディズを開催し、チャリティーランチやバザーなどの収益の一部を、骨髄バンクへ寄付していただいております。1996年より長年にわたる寄付金の総額は、累計370万円を超えています。心温まるご支援を賜りありがとうございました。



## 5 ドナー助成制度導入、899自治体に

「骨髄バンクを通じて骨髄または末梢血幹細胞を提供したドナーのための助成制度」が下記自治体で導入されました。全国で899自治体になります(2022年10月14日現在)。助成内容は各自治体により異なりますので、直接お問い合わせください。

[https://www.jmdp.or.jp/documents/file/02\\_donation/donor\\_municipality.pdf](https://www.jmdp.or.jp/documents/file/02_donation/donor_municipality.pdf)

○静岡県島田市、藤枝市 ○三重県多気町 ○愛媛県伊方町 ○福岡県久留米市  
○熊本県苓北町

## 6 非血縁者間末梢血幹細胞採取施設の新規認定

下記の施設が新たに非血縁者間末梢血幹細胞採取施設として認定されました。これにより骨髄採取認定施設数は199施設、末梢血幹細胞採取認定施設数は134施設となりました。

○富山大学附属病院(末梢血幹細胞)

ホームページでもご覧いただけます。

<https://www.jmdp.or.jp/hospitals/view2/>